

神戸大学海事科学部オープンキャンパス2016

「海事博物館の公開」



神戸大学海事博物館は、その前身の神戸商船大学やさらにその前の神戸高等商船学校時代から現在にかけて海事に関する参考資料を広く収集展示して教育研究の資に供し、あわせて海事の普及に寄与することを目的として1958(昭和33)年に『海事参考館』として発足しました。爾来、収蔵資料の保管とともに社会変化で散逸しつつあった資料の蒐集に努めています。1967(昭和42)年の神戸商船大学50周年(私立川崎商船学校創基50周年)記念事業において現在の展示室が講堂の一階部分に完成したのを機に『海事資料館』へと改称し、さらに2003(平成15)年10月1日に神戸商船大学と神戸大学とが大学統合しましたが、その1年後の2004(平成16)年10月1日に『海事博物館』へと名称を改めて現在に至ります。

収蔵品には、江戸時代後期から瀬戸内海や日本沿岸で活躍した北前船の和船模型を始め和船の部分実物、船大工の板図や大工道具類、航路図や海路図屏風、航海の安全を祈願して奉納された絵馬、西洋型帆船や商船模型、近代の航海用具、レシプロ機関やボイラー模型、進水式絵葉書、船や船旅と近代の日本商船隊に関連した寄贈コレクションの他、寄贈書籍など約3万点を数えます。

当館では常設展示の他に毎年7月の「海の日」を記念して企画展を開催しています。この深江キャンパスは来年(2017年)創基100周年を迎えますことから、今年と来年のテーマを『神戸における海技者教育100年の歩み』と題して、企画展を前半と後半に分けて開催しています。

実施時間：9：30～16：00

実施会場：海事博物館

※ 事前申込み不要(随時、自由にご覧いただけます。)

神戸大学海事科学部オープンキャンパス2016

「附属図書館海事科学分館の公開」



附属図書館海事科学分館は、主に海事科学部・研究科の方々を対象とした図書館です。蔵書の中心は、海事関係の図書・学術雑誌であり、全国でも数少ない海事図書館として広く利用されています。

建物は、本館2階建と1号館の一部として建築された書庫（4層）からなります。

本館1階には、グループ学習室・学生自習室および談話スペースがあります。本館2階の開架室には、英語多読図書・シラバス図書（授業で使われる教科書・参考書）コーナーなどがあり広く活用されています。

実施時間：9：30～16：00

実施会場：附属図書館海事科学分館

※ 事前申込み不要（随時、自由にご覧いただけます。）

